

は　じ　め　に

鹿児島県北西部に位置する本市は、ラムサール条約登録湿地（平成１７年１１月登録）となった「藺牟田池」、本市の中央部を貫流する「川内川」、島の一部（海域を含む）が国立公園（平成２７年３月１６日告示）となった東シナ海に浮かぶ「甕島」など、風光明媚な空間に恵まれ、その多彩で豊かな自然環境の中には様々な動植物が生息・生育しています。

しかしながら、経済活動やライフスタイルの多様化に伴い、生活環境から地球温暖化、オゾン層破壊、エネルギーなど広域的なものまで、多くの環境問題に直面しています。

このような状況の中、本市では、環境保全施策を計画的に進め、また、緊急課題である地球温暖化から生活環境の保全までの幅広い環境保全対策に対応していくため、薩摩川内市環境基本計画に基づき、さまざまな施策を講じてきた結果、河川等の水質や騒音・振動などの環境基準等に対し、良好な状況が保たれています。

今後とも自然環境及び生活環境の保全、公害の防止対策を本市の重要な施策として位置づけ、薩摩川内市発展のために限りある資源の有効活用を推進し、持続可能な循環型社会や低炭素社会の構築を図ってまいりたいと考えております。

本書を通じて、本市の環境の状況と施策についての理解を一層深めていただき、市民・事業者・市が協働して環境の保全と創造に向けた具体的な取り組みを進めていくための一助となれば幸いです。

平成２８年３月

薩摩川内市長　　岩　切　秀　雄